

ツアー名 BAR・カフェから見た向島

[日時]6月24日(土)

[時間] 17:15～21:00

[天気] 晴れ

[参加者]10名

[スタッフ名] 友野健一、黒崎八重子、近郷麻衣

[ツアールート] 東武伊勢崎線 曳船駅→向島 BAR Bee→鳩の街通り商店街→Bar 帝都ロケット
商會→鳩の街ギャラリー→カフェグラヌール→解散

17:30～東武伊勢崎線 曳船駅

曳船駅から、向島の個性あふれるBARやカフェをまわり、各マスターの店や町へのこだわりをあれこれ聞いてまわるツアーが出発です。とはいっても、本所ツアーから引き続き参加する方もいらしたので少し時間が遅れて、向島BAR Beeで全員がそろそろこととなりました。



17:40～向島BAR Bee

Bar Beeは、扉を開けて一歩中に入るとすぐにカウンターが広がり、銀座の老舗BARを思い起こさせるようなオーセンティックバーです。

当日は、マスター山田さんから向島の歴史を絡めた、おじいさんの営んでいた「氷屋」、お父様の営んでいた「中華料理屋」、ご本人の「BAR」に至るまでのお話をいただきました。向島芸者の暮らし、まちの名前の変化など、興味深い話をお聞きしました。



身近なバー。

夜遅くなるにつれて、地元の方が多くなっていくBeeには、気軽にお酒を楽しむことのできる雰囲気があります。バーカウンターを介して、人と人とのコミュニケーションの楽しさを楽しむこととなります。自然と、心が通じる不思議な感覚がありました。バー初心者でも親しみやすいお店でした。



Bar 帝都ロケット商會に向かうため、次は鳩の街商店街へ。



18:50～帝都ロケット商會

こちらは、2階建て住宅の1階を店舗に改造したレトロな感じのお店です。

店主の若林さんは、ブリキ職人であり、演奏家でもあります。「近未来」をイメージしたブリキ製家具と小物の製作。スイングジャズの演奏活動。味のあるブリキと心地よいジャズはこのお店にぴったりだと思います。



店内には、戦後から続く自動車修理工場の珍しい工具や、京都伏見の酒屋の看板などいろいろなコレクションが飾って(?)あり、1930年代をこよなく愛する店主のこだわりが伝わってくるようです。調和が取れた空間で、懐かしさを実感できる場所でした。

19:00～鳩の街ギャラリー

途中、お邪魔させていただいたのは、鳩の街ギャラリー。
こちらは若手日本画家の方が、作業場兼、ギャラリーとして、商店街の空き店舗を改装して、使っています。



参加者の中には、ギャラリーの絵をとっても気に入って、手元に置いておきたいという方もいらっしゃいました。色彩のすばらしさに一目ぼれしてしまったそうです！

(後日談) 実際、購入されたそうです。



19:10～路地琴

路地の片隅に、なにやら不思議な甕のようなものがありました。これは、「水琴窟」という日本古来の環境音装置とのことです。耳を近づけると竹の中から涼しげな水の音が聞こえます。甕の中で反響する美しい音は、路地風景の美しさを際立たせているようです。この美しくもはかない水の音で心も癒されました。



19:15～カフェグラヌール

くつろぎのカフェ、グラヌールでは、サッカーW杯ドイツ大会に関連してドイツ料理をいただきました。ビールについて、こちらのお店についてもわかりやすく説明していただき、とても興味深くお話をお聞きました。



店内には近所の人を持ち寄ったという下町のネコの写真が展示してあります。ネコのほかに、店主の竹内さんが代々木公園で取ってきたといわれる木や自然を利用した飾りがあって、手づくり感覚いっぱいのお店です。



ツアーのみなさんは、これまでずっと一緒に歩いてきたということでお互いに打ち解けたようでした。おいしい料理を食べながら自己紹介をして、今後も何か機会があれば集まりたいというお話もしました。



ゆるゆるとした時間を共有してツアーは終了。中身の濃い充実したツアーとなりました。みなさま、お疲れ様でした～。